



発行
八尾市民生委員
児童委員協議会
会長 小林 有美子
〒581-0003
八尾市本町2-4-10
☎990-4567
編集 広報部会



服部川にて

撮影者：木下広報部会員

目次

P1	表紙	P6	地区研修だより
P2～P3	特集	P7	表彰／退任／委嘱／能登半島地震義援金
P4	専門部会活動報告	P8	新委員長紹介／PRグッズ／あとがき
P5	リレー投稿／趣味／座右の銘		

特集① 川崎前会長「瑞宝単光章」受賞

令和5年11月3日、八尾市民生委員児童委員協議会、前会長川崎吉継氏が永年にわたり公益のため、尽力貢献された功績により瑞宝単光章の栄に浴されました。

八尾市民生委員児童委員協議会あげて心よりお祝い申し上げます。

瑞宝単光章

明治8年4月に「勲章従軍記章制定ノ件」(太政官布告第54号)が公布され、これが現在の旭日章の基となったもので、我が国の勲章制度の始まりとなっています。以降、明治9年に菊花章、明治21年に瑞宝章と宝冠章、また、昭和12年には文化勲章が制定されました。

瑞宝単光章 公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方。

※内閣府ホームページより転載



祝賀会のようす

令和5年 社会福祉功労者厚生労働大臣表彰 (5.11.15)

・黒野 美鈴(曙川中) ・小坂 明美(曙川中) 受賞おめでとうございます。

特集②**子育てサロン「はとぼっぽ」の再開に向けて**

「はとぼっぽ」は「保護者とその子ども（0歳～就学前（児））が自由に集い、遊びの広場を通じて保護者同士の交流につなげること、民生委員・児童委員が地域の多くの方達との出会いとふれあいのなか幼児と保護者の視点から子育ての支援をすること」を目的としています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域における行事や活動が余儀なく制限されてきましたが、昨年5月に「第2類」から「第5類」に移行されたことを受け、少しずつですが、各地域で活動が再開されました。

今回は、12月に成法中・高美中地区でスタートした「はとぼっぽ」のようすをお届けします。当日は、12組の親子が参加され、リズム体操や紙芝居などの取り組みが行われ、久しぶりの「はとぼっぽ」の再開に参加された方は終始楽しそうに過ごされていました。

参加者からは「子育ての工夫や悩みの情報交換が出来た」「地域の民生委員児童委員の方と日頃からつながりがあると心強い」「子育てサロンを楽しみにしていました」などの声があがりました。



「はとぼっぽ」のようす

特集③**「民生委員・児童委員の欠員問題を考える」**

民生委員児童委員制度が発足された当初は、行政の補助機関として主に生活保護世帯への相談、支援が任務とされていました。現在は、少子高齢化等を背景に、在宅の高齢者の生活支援、児童の健全育成、子育て支援、障がい者の生活支援など活動範囲は幅広く、地域福祉の推進のために欠くことのできない存在となっています。

しかしながら、活動範囲の拡大により委員の負担が増え、仕事や私生活とのバランスが保てなくなりつつあります。近年では1期3年で退任する例や後任のなり手もないなど、慢性的な人材不足が深刻化している現状があります。

民生委員・児童委員の欠員問題は、全国的な課題ではありますが、八尾市においても定数412人に対して欠員（代行を含む）が46人（R6.3.31現）という状況にあります。

幹事会では、「後進のために今こそ考えていく時期」「他市の事例などを参考にしたい」など課題解決のために建設的な意見が出され、本年度に「民生委員・児童委員の欠員問題を考える研究会（仮称）」を開催してまいります。

専門部会活動報告

高齢者福祉部会

部会長 植村 幸永

令和5年度は研修会を2回開催しました。

・5月ミニ研修会テーマ「人生会議」

・12月「認知症高齢者声かけ体験」



ミニ研修会の様子

ミニ研修会では、「人生会議」について知ることからはじめました。「最終までどう生きたいか」を考えるきっかけづくりのツールとして広く活用されるように啓発活動を継続したいと感じました。

体験研修ではひとりあるき（徘徊）の方への声掛けのポイントを学びました。高齢者あんしんセンター、商店街、介護者家族の会など多くの方の協力で実施することができ



声かけ体験の様子

ました。店先をお借りしての5地点で声掛けを進めるうちにスムーズに声掛けもできるようになりました。今日の体験で身につけたスキルを、実際の現場でも活用できる場面に繋がれば嬉しいですね。

障がい者福祉部会

部会長 西川 一男

障がい者福祉部会では、昨年5月17日に研修会、12月5日に施設見学を行いました。研修会では、八尾市パーソナルサポートセンターの原田千恵子氏を招いて、「引きこもり・長期未就労者を抱えるご家族の支援」についてお話を伺いました。民生委員・児童委員の皆様にお願ひしたいことで「温かい眼差しで見守っていたいただきたい」とありました。次に同じく藤永勝也氏より、「元当事者だったから話せる引きこもり当事者の気持ち」と題してお



ポッチャ体験の様子

話を聞かせていただきました。引きこもりの経緯から最終的に支援する側に回って感じていることを具体的に説明して頂きました。施設見学は、障がい者福祉センター「八尾市立障害者総合福祉センターきずな」で、ポッチャ体験をしました。実際やってみると難しく、いい経験になりました。来年度も様々な研修を行いました。

昨年の4月2日(日)山本幼稚園の跡地で第1回桜まつりフェアがまつりフェアが開催されました。地域のボランティアや出店希望者がそれぞれの企画を持ち込み、3000人以上の来場者で大いに賑わいました。上之島中地区民児協もブースを借りてクロリティ(輪投げ)を実施し、



クロリティ(輪投げ)のようす



約4000人の子どもたちや保護者、高齢者の皆さんに

楽しんでもらいました。民児協の存在を少しでも知ってもらえたかなと思いました。

そんな上之島中地区民児協ですが、次の一斉改選では定員30名中13名が定年の75歳を超えてしまっています。次の担い手探しと喫緊の課題です。まちづくり協議会や地区福祉委員会にも協力をお願いし、次の民生委員・児童委員を探すことになり、悩ましい日々が続きます。

趣味

葭仲 勝義
(高安中地区)

私は何でもやってみるのが趣味です。ギター、アマチュア無線、キャンプ、自転車旅行、バイク、スキー、ゴルフ、ビリヤード、釣り、ドローン等々。とにかく浅く広くがモットーで、どれも中途半端です。そんな中で、中学2年の時に始めて、今で

もやっているのがギターの弾き語りです。年数だけと言うとこれが一番長いのですが、途中でブラ手です。「下手の横好き」です。始めたのは「スーパースター」になるためでした(ギターのコマースャル)。しかし才能もなく、たいして練習もしなかったのです、上達しないまま今日に至っています。万年初心者ですが、ギターを弾くのは、どこでも誰とでも歌えるからです。

座右の銘

「相手に変化を望むなら、
まず自分が変わるべきである」

様々な物事を進めていく際に、色々な意見が対峙する場面にあつた。なぜ、相手が理解できないのであろうかと、その点ばかりを重視せず、まずは自分の考え、行動を見直し、改めることで、相手の気持ちが変わり、物事が円滑にいくのではないかと、常に思っている。

谷元 千津子 (久宝寺中地区)

地区研修だより

八尾中地区

植田 和則

曙川中地区

増井 保彦



地区委員会のような

「はとぼっば」も
を休止していた
コロナ禍で活動
ます。

きたいと思っております。

な状況が身近なものに思えました。
地震は、いつでも発生するかわからないので、常に物と心の備えを意識しなければなら
ないと思っております。

今年から再開しようと準備を進めているところです。
地域の皆さんが安心して暮らせる町づくりのお役に立てるよう、がんばって行

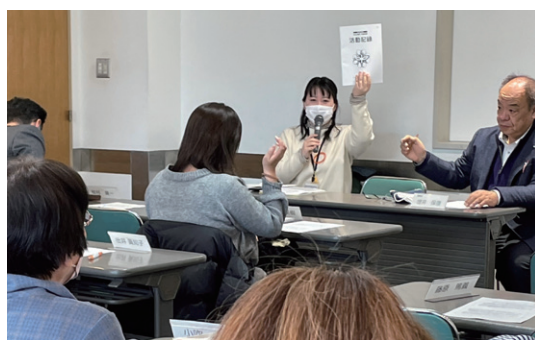
八尾中地区は、近鉄八尾駅の北側に位置します。
用和小学校と長池小学校の33名（欠員3名）が活動しています。
例会は、市役所の地域共生推進課の方や緑ヶ丘コミュニティセンター、萱振

苑（高齢者あんしんセンター）の方も参加し、情報共有を行っています。
忘年会や新年会、研修旅行等を行い親睦を深めています。昨年、神戸震災記念館を見学したばかりでしたので、能登半島地震の悲惨

2月27日、久々に研修会を開催いたしました。内容は【活動報告書の書き方】と【振込詐欺などの実態】です。
活動報告書の書き方については、新委員から質問がよくあり、研修会を開きたかったのですが、コロナ禍でなかなか実現できませんでした。民生委員児童委員協議会事務局の中辻氏が、

りやすく説明してくださいました。気軽に話し合える雰囲気、説明書には載っていない地域ならではの質問も出て勉強になりました。是非また機会を持ちたいと思っています。
次に、八尾警察署防犯係の仙石氏から詐欺被害の実

態をお聞きしました。八尾市は詐欺被害が大阪府ワースト1位の常連だそうです。キャッシュレスカード詐欺の巧妙な手口は実演付きで解説があり、一同ビックリでした。また、本物の詐欺師の電話の録音も聞かせていただき、詐欺師の自然な話し口調には、関心するやら驚くやら…。
「サポートやお」から3人の職員さんにもご参加いただき、有意義な研修会になりました。



研修会のような

表彰

おめでとうござります

(※は退任者)

☆令和5年 秋の叙勲

(5. 11. 3)

小坂 明美 (曙川中)

川崎 吉継 (高美中)

☆令和5年 全民児連

(5. 11. 21)

功労者表彰

☆令和5年 文化の日

(5. 11. 3)

市民表彰

◎20年勤続表彰

阪上 美智子 (成法中)

中野 眞也 (曙川南中)
吉原 好則 (大正中)

☆令和5年 全民児連

永年勤続表彰

(5. 11. 21)

☆令和5年 社会福祉功
労者厚生労働大臣表彰

(5. 11. 15)

◎10年勤続表彰

山田 良子 (成法中)

小阪 美重子 (上之島中)

黒野 美鈴 (曙川中)

竹岡 規子 (竹 渕)

退任

お勤めご苦労さまでした

阪上 美智子 (成法中)

(5. 12. 31)

川崎 吉継 (高美中)

(6. 2. 20)

二ノ丸 覚正 (八尾中)

(6. 3. 31)

三浦 眞弓 (曙川南中)

(曙川中)

藤川 寿之 (曙川中)

委嘱

今後ともよろしく

田中 欣一 (曙川中)

(5. 12. 1)

井手下 由佳子 (成法中)

道源 希世子 (曙川中)

荻野 瑞穂 (久宝寺中)

永富 利子 (曙川南中)

「令和6年(2024年)能登半島地震」義援金に協力しました

令和6年(2024年)1月1日16時10分に、石川県の能登半島で発生した「能登半島地震」は、地震・津波等の影響により、石川県、富山県、新潟県、福井県などで人的及び家屋への甚大な被害が発生し、複数県の市町村に災害救助法が適用されました。

こうした状況をうけて、被災地の共同募金会では、被災された方々を支援するために義援金の募集を行っています。

八尾市民生委員児童委員協議会といたしましても、大阪府共同募金会を通じて義援金(50,000円)の協力を行いました。

尚、義援金は、被災県において取りまとめられ、設置される配分委員会において配分額を決定し、被災市町村を通じて被災者へ配分されます。

災害はいつ起こるかわかりませんので、日頃の民生委員・児童委員活動から災害に強い地域づくりに取り組んでいきたいと思います。

新委員長紹介について 高安中 ^{よしなか} 葭仲 勝義

令和6年1月より民児協幹事（高安中地区委員長）を務めさせていただいております。先輩方の足を引っ張らないように頑張る所存です。仕事が休みの日には畑に出ることが多いのですが、そこでは季節の移ろいを感じます。「草木国土悉皆成仏^{そうもくこくどしつかいじょうぶつ}」という言葉が実感できます。そこで思うのは「まして人間をや」ということです。のどかな里山の風景が残る高安地域ですが、そこに暮らす人たちが、少しでも幸せを感じられるよう、微力ながらお手伝いしたいと思います。何卒、ご指導ご鞭撻の程よろしく願ひいたします。



民生委員・児童委員PRグッズご案内

「民生委員・児童委員」活動や役割を知ってもらうPRグッズを作成しました。

オリジナルトートバッグ：全委員1人1個

オリジナル付箋(作成中)：小中学校等へお渡し予定

また、その他「PRカード」もあります。ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。



あとがき

まず初めに、第81号の発行準備をする中、地区委員の皆様にはタイトなスケジュールで、原稿依頼をさせて頂いたことをお詫び申し上げます。とはいいいながら私自身にも「座右の銘」の原稿依頼があり、慌てたわけですが。

座右の銘は？と改めて考えたところ、私には実母の教えや人生半分以上生き、日々感じ学んだことが多すぎて、迷いましたが、掲載して頂いたあの言葉に落ち着いた次第です。

又、2024元旦に発生いたしました「能登半島地震」には本当に驚きました。阪神淡路、東日本大震災の経験を元に、市町村では、様々な対策を構築してはいたはずですが、やはり犠牲者がゼロではありませんでした。私達、民生委員・児童委員のモットーは、「自分の身の安全が第

一」しかし、それを踏まえてそこから何をすべきなのが、明確には理解できてないように思われます。決して待っているわけではありませんが、いつ震災が発生するのかは、誰にも解りません。

備蓄は勿論の事とし、各々の地区で各団体が、話し合う機会を持ち、連携がスムーズにいくような環境を整える時期が来ているように、思われます。

第82号には、皆様の意見を多く取り入れることができるように、スマホから、メッセージを読み取れる仕組みを検討中です。

皆様の意見を、沢山いただき、読み応えのある「風知草」を、お届けできるように部会員、事務局とともに頑張っていく所存です。

広報部会長 谷元 千津子

八尾市民生委員児童委員協議会のホームページをリニューアル中！

※詳細は、第82号に記載予定です。